ISHIKAWA

水戸市立石川中学校　学校便り　No.14

令和６年１月１０日（水）文責　砂田　和広
※石川中 HP に掲載

☆明るく　元気に　笑顔で　自分らしく☆

令和６年スタート

　新年あけましておめでとうございます。令和６年(辰年)が始まりましたが，今年はどんな年になるのでしょうか？　世の中はどうあれ，私たちは目標をもち「どんな年になるか」ではなく「どんな年にするか」主体的に行動することが大切です。３年生はいよいよ受験本番を迎えます。不安があるのは誰も同じです。**「今の自分を受け入れ　何をすべきか問いかけ新たな道を切り開く」**しかありません。２年生は４月からは最高学年「石川中の大黒柱」となります。頼れる先輩となってください。１年生は中堅学年として石川中を支えるとともに，新入生のよい手本となってください。

県アンサンブルコンテスト

　12 月 23 日に、牛久市中央生涯学習センターで県アンサンブルコンテストが行われました。本校からは金管三重奏で出場し銀賞を受賞しました。各地区大会には合計 400 を超えるグループが参加し、県大会に出場できたのは 60 グループです。３人は立派な態度で臨み、素晴らしい演奏でした。
金管三重奏：小野瀬歩実　渡邉瑠星　小檜山花乃

＜辰年＞

　「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍（竜）を意味します。水や海の神として祀られてきた龍は、竜巻や雷などの自然現象を起こす大自然の躍動を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。

＜正月豆知識＞

【七福神】

　縁起物の象徴としてお年玉のポチ袋や福袋にも描かれている七福神は、福徳に関する７柱の神様の総称です。七福神の由来は、仏教経文の「七難即滅　七福即応」に由来するといわれています。「七つの難が滅んで、七つの幸福がやってくる」という意味です。七福神を構成するのは、恵比寿天･大黒天･毘沙門天･弁財天･福禄寿･寿老人･布袋の７柱の神様です。それぞれ見た目も与えてくれるご利益も異なります。どんなご利益があるか調べてみましょう。

【お年玉】

「お年玉」は、年神様に供えた餅を下ろし、子どもや目下の者に分け与えたのが始まりです。年神様に供えた餅には年神様の御魂（みたま）が宿っており、これをいただくことで１年分の力を授かるとされていたのです。